

「赤旗」宣伝スボット

2021年4月

こんにちは、日本共産党です。コロナ危機を乗り越えて、新しい政治、新しい日本への道を切り開くため、全力をあげています。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ

「しんぶん赤旗」を、ぜひお読み下さい。

「しんぶん赤旗」日刊紙は、1カ月3497円。スマホで読める電子版もあります。

週刊の「赤旗」日曜版は、1カ月930円です。

●コロナ感染拡大が止まりません。変異株の増加など、危機は広がるばかりです。大規模なPCR検査、中小企業が事業を継続できるだけの補償と支援、医療機関への減収補填と病床確保を政府に迫り、コロナ感染を封じ込めましょう。

●日本共産党は、コロナで「お困りごとはありませんか」と、みなさんから要望を聞き、政府の対策に生かされるよう努力しています。気軽に「ご相談ください」。「しんぶん赤旗」は、雇用や営業、くらしの現場を詳しく取材。コロナから国民を守る、たしかな情報をお届けしています。ぜひお読みください。

●政府は、福島第一原発事故に伴う汚染水の海洋放出を決めました。地元の強い反対の声に耳をかさず無視する姿勢はひどすぎます。国連からは「今後100年以上にわたり、人間や環境を危険にさらす可能性が

ある」と「深い憂慮」が表明されています。

反対や異論、懸念がこれだけある中で海洋放出はやめるべきです。当面、陸上保管を続け、世界の英知を結集し解決への道を探るべきです。

※確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」の日刊紙は、1カ月3497円。スマホで読める電子版もあります。週刊の「赤旗」日曜版は、1カ月930円です。

●菅政権は、「政治とカネ」の問題や、総務省や文科省の接待疑惑など底知れぬモラル崩壊を起こしています。もう菅政権に日本の政治を任せられません。政権交代で、ゆがんだ政治を大本から変えましょう。日本共産党は、野党連合政権をつくるために全力で奮闘します。

●今年には総選挙の年です。日本共産党は、政権交代の実現、野党連合政権の樹立に向けて、全力をあげています。コロナで国民の命を危険にさらし、民主主義を踏みこむ菅政権を、続けさせるわけにはいきません。市民と野党の共闘で総選挙に勝利し、新しい政治を実現しましょう。「しんぶん赤旗」は、市民と野党の共闘を伝える「共同の新聞」です。ぜひ、お読みください。

●オリンピック開催がコロナの感染抑止と両立しないのは誰の目にも明らかです。政府は、直ちに中止を決めるべきです。世界の多くのメディアは、オリンピックの開催

が「強力な感染源になりうる」と警告しています。国内の世論も、中止・延期が多数です。直ちに中止を決め、全ての力をコロナ収束に集中すべき時です。

※くり返し

●菅政権が病院のベッドを削減し、高齢者の医療費を2倍化しようとしています。コロナ禍で医療体制の充実が必要なのに、政府のやることは逆さまで。国民が安心して受診できる医療こそ必要です。医療破壊をすすめる法案は廃案にし、国民の命と健康を守る政治へ転換しましょう。

●核兵器禁止条約が、1月に発効しました。核兵器の違法性をハッキリさせ、廃絶の道を開く画期的な条約です。ところが菅・自公政権は、核兵器禁止条約への署名を拒み、被爆者のみなさんから厳しく批判されています。核兵器の廃絶をめざす日本と世界の動きを報じる「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●「しんぶん赤旗」が主催する、囲碁・将棋の「新人王戦」は、若手プロ棋士の登竜門として注目されています。将棋の藤井聡太二冠も、2018年の新人王です。「赤旗」日刊紙は、新人王戦の熱戦譜を毎日掲載。日曜版でも、プロ棋士の解説をつけて毎週紹介しています。ぜひ、お読みください。

※くり返し

●同性婚を認めないのは憲法違反。画期的判決が札幌地裁で出されました。いま、ジェンダー差別を許さない、大きな変化のうねりが起こっています。日本共産党は、ジェンダー平等社会の実現を綱領に明記。一人ひとりの人権が尊重され、自由に生きられる社会をめざしています。「しんぶん赤旗」は、性暴力をなくすフラワーデモや、選択的夫婦別姓など、多彩な取り組みを報道しています。ぜひ、お読みください。

●小学校全学年の35人学級が実現することになりました。保護者、教職員の長年の運動と幅広い世論が勝ち取った大きな前進です。40年間動かなかった少人数学級への道。声をあげれば政治は動きます。さらなる少人数学級、中学校での具体化へ。日本共産党は、みなさんの願いを、政治に届け、一緒に動かします。

※くり返し

以上